

# クリニカルパス推進委員会における、 パス活動の活性化に向けて

松山赤十字病院・看護部

後藤 佳子



## 当院のクリニカルパス組織体制



## バリエーションデータから得られた実態

### ▶ バリエーション登録内容の相違

▷ 慢性硬膜下血腫パス：術後の血圧上昇による、バリエーション

レベル（影響度）	正負	バリエーション名称（要因）	対応内容	コメント
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	主治医へ連絡	術前は血圧高値であったが、主治医報告し様子観察となり処置使用せず。術後は穩定
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	必要時指示の実施	術前から血圧高値にてニカルジピン使用。
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	必要時指示の実施	血圧高値にてニカルジピンにて血圧コントロールを行った。
パスに影響なし	正	なし	必要時指示の実施	血圧高値にてニカルジピン投与し指示内で経過
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	必要時指示の実施	血圧高値にてニカルジピン使用。
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	必要時指示の実施	血圧高値にてニフェジピンの内服を行って、血圧指示範囲内となる。
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	必要時指示の実施	ニカルジピンにて血圧指示範囲内
パスに影響なし	正	なし	必要時指示の実施	血圧高値にて処置施行後、バイタルサイン安定した。
パスに影響なし	負	身体状態（回復の遅延・合併症のため）	必要時指示の実施	血圧指示に引っかかりあり、ニフェジピン内服した。

### ▶ パスによっては、バリエーション件数が、少ない！無い!!

▷ バリエーション分析ができない・・・



## パス活動での課題

### ▶ アウトカムが正しく評価できていない

- ▷ アウトカムの判断基準（アセスメント）を確認せずに評価していた
- ▷ バリエーション発生への対応で患者状態が改善した→達成？・未達成？

### ▶ アウトカム設定に、問題あり

- ▷ 1アウトカムに、**10個以上**のアセスメント・・・
- ▷ 標準的な経過・治療に基づいたアウトカム設定でない・・・
- ▷ アウトカム判断基準の数値化ができていない・・・

### ▶ チーム医療でのパス作成ではない？！

- ▷ 多職種が関与する、アウトカム・タスクが設定されていない・・・



## 課題解決に向けた活動内容（昨年度）

4

Matsuyama Red Cross Hospital 2022/9/6

- ▶ パス担当者へのパス教育 ← **アウトカム・バリエーション**
- ▶ **アウトカム評価・ルールの見直し（パス運用マニュアル改訂）**
  - ▷ 評価者・評価のタイミング ← **未評価・誤評価への対応を強化**
  - ▷ 評価方法 ← **アセスメントに基づいた、評価実施の徹底**
  - ▷ 患者の状況・状態変化に応じた、評価の判断について
- ▶ **アウトカム判断基準の数値化を推進**
  - ▷ 「疼痛」の判断基準を、観察項目「疼痛程度（NRS）」に統一
  - ▷ 適正值（数値）の設定

## 課題解決に向けた活動内容（昨年度）

5

Matsuyama Red Cross Hospital 2022/9/6

### ▶ パス監査の実施

- ▷ 目的
  - ▶ アウトカム評価の精度向上
  - ▶ アウトカム・アセスメント設定の把握
- ▷ 監査項目
  - ▶ アウトカム・アセスメント設定状況
  - ▶ 日々のアウトカム評価状況
  - ▶ バリエーション登録内容・バリエーション発生時記録・・・
- ▷ 委員監査
  - ▶ 担当者が監査したパス（症例）を監査
  - ▶ パスの見直し案をフィードバック

アウトカム・バリエーションの  
監査をするガ〜



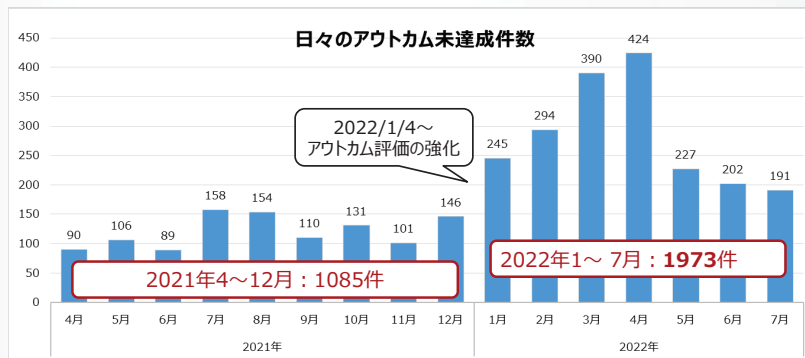
## 今年度のパス活動

6

Matsuyama Red Cross Hospital 2022/9/6

### ▶ バリエーション分析の実施

- ▷ アウトカム評価方法の変更・強化により、バリエーション件数増加（約2倍）



## 今年度のパス活動

7

Matsuyama Red Cross Hospital 2022/9/6

### ▶ パス監査の定着

- ▷ 監査項目

カテゴリー	監査項目
アウトカム設定	1. アウトカム達成条件は、値（上下限・範囲）・状態など明確である
アウトカム評価	2. 記録内容とアウトカム評価が、合致している
	3. 未評価アウトカムがない
バリエーション	4. アウトカム未達成時のバリエーション登録がある
	5. 発要因の選択は妥当である
	6. 対応の選択は妥当である
	7. 判断（正負）の選択は妥当である
	8. レベル（影響）の選択は妥当である
	9. バリエーション発生時の記録がある（看護記録）
パス評価	10. 適用期間内を総合的に評価している（パス終了日のみ入力）

- ▷ 運用・監査体制を構築と定着化：1症例/毎月

## 今年度のパス活動

### ▶ パス教育体制の構築

- ▷ これまでの、「パス学習の場」
  - ▶ 院内パス大会 → 参加しないと、知識習得できない
  - ▶ OJT → 指導者・パス担当者の指導に差がある



### ▷ 動画講義を作成

- ▶ 多くの職員に学習できる機会を提供
- ▶ 業務の合間・休憩時間
- ▶ 1講義・10分程度
- ▶ 初級編・中級編・実践編

← 隙間学習

← 段階的な学習

クリニカルパス基礎講座  
【初級編】

松山赤十字病院  
クリニカルパス推進委員会・看護部

8

Matsuyama Red Cross Hospital

2022/9/6

## 今年度のパス活動

### ▶ 多職種へのパス活動参画推進

- ▷ パス活動で、職種毎の専門性を活かした役割の明確化

↓  
パス作成への参加

↓  
パス内容の充実

↓  
チーム医療の可視化

チーム医療の推進

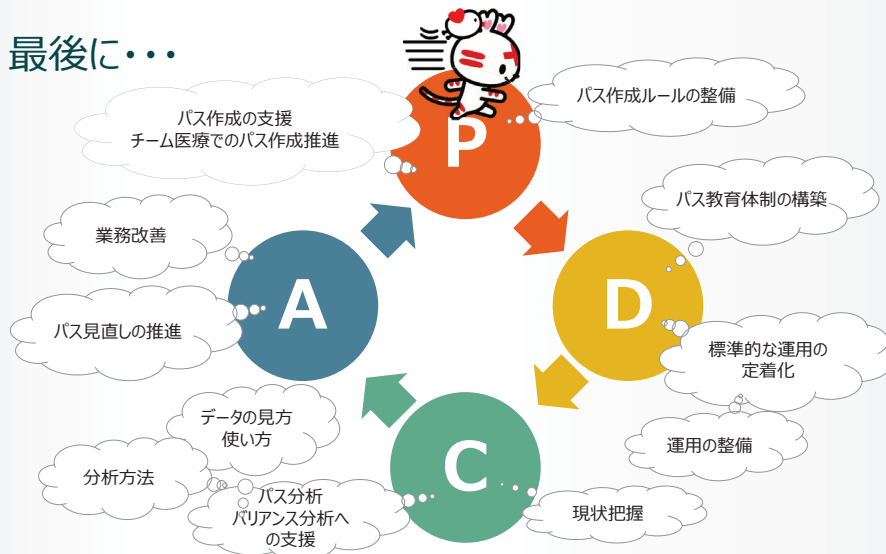


9

Matsuyama Red Cross Hospital

2022/9/6

## 最後に・・・



10

Matsuyama Red Cross Hospital

2022/9/6

以上で、発表を終わります。



Matsuyama Red Cross Hospital

2022/9/6